

# 会社説明会

～ 2019年3月期 ～

Yamagata

Miyagi



きらやか銀行



じもと  
HOLDINGS



仙台銀行

2019年6月14日



じもと HOLDINGS

## 1.2019年3月期決算の状況

① 損益の状況	…	1
② コア業務純益の増減要因	…	3
③ 貸出金の状況	…	4
④ 預金（譲渡性預金を含む）の状況	…	5
⑤ 預かり資産の状況	…	6
⑥ 有価証券の状況	…	7
⑦ 各種利回り・利鞘の状況	…	8
⑧ 経費・経営効率化の状況	…	9
⑨ 金融再生法開示債権の状況	…	10
⑩ 自己資本比率の状況	…	11
⑪ R O E の状況	…	12
⑫ 2020年3月期業績予想	…	13

## 2.仙台銀行の取組みについて

① 仙台銀行の取組み	…	14
② 本業支援の高度化	…	15
③ 本業支援事例	…	16
④ ビジネスマッチング事例	…	17
⑤ 資産形成・運用支援	…	18
⑥ キャッシュレスへの対応	…	19
⑦ その他トピックス	…	20

## 3.きらやか銀行の取組みについて

① 中期経営計画の目指す姿	…	21
② 本業支援の実績	…	22
③ 本業支援の取組み	…	24
④ きらやかさんの取組み	…	29

## 4.じもとホールディングスの取組みについて

① 宮城と山形をつなぐ	…	30
② 新中期経営計画（全体像）	…	31
③ 持続可能なビジネスモデルの確立	…	32
④ 効率化・合理化	…	33
⑤ 本業支援の社会貢献への繋がり	…	34
⑥ 内部管理態勢	…	35

---

# 1. 2019年3月期 決算の状況

# ① 損益の状況

## ① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2019年3月期			2018年3月期
	前年同期比	増減率		
連結経常収益	42,850	183	0.4	42,666
経常利益	2,592	△ 1,124	△ 30.2	3,717
親会社株主に帰属する当期純利益	1,630	△ 1,387	△ 45.9	3,018

- じもとホールディングスの連結経常収益は428億50百万円、経常利益は25億92百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16億30百万円となりました。

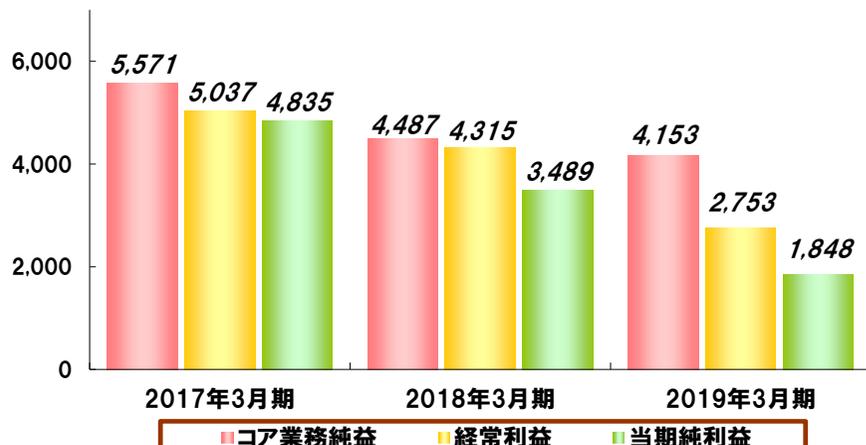
## ② 2行合算

(単位:百万円、%)

	2019年3月期			2018年3月期
	前年同期比	増減率		
経常収益	37,286	△ 132	△ 0.3	37,419
業務粗利益	28,860	△ 808	△ 2.7	29,669
資金利益	26,645	△ 1,974	△ 6.8	28,619
役務取引等利益	2,019	145	7.7	1,874
その他業務利益	196	1,020	-	△ 824
うち国債等債券損益	△ 287	520	-	△ 807
経費(除く臨時処理分)	24,994	△ 995	△ 3.8	25,989
うち人件費	12,448	△ 367	△ 2.8	12,815
うち物件費	10,760	△ 466	△ 4.1	11,227
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,866	186	5.0	3,679
コア業務純益	4,153	△ 333	△ 7.4	4,487
一般貸倒引当金繰入額	154	274	-	△ 119
業務純益	3,711	△ 87	△ 2.3	3,799
臨時損益	△ 958	△ 1,474	-	515
うち不良債権処理額	1,541	714	86.4	826
うち個別貸倒引当金繰入額	377	△ 92	△ 19.7	470
うち貸倒引当金戻入益	393	104	35.9	289
うち株式等関係損益	616	△ 858	△ 58.2	1,474
経常利益	2,753	△ 1,562	△ 36.2	4,315
特別損益	△ 390	△ 90	-	△ 299
当期純利益	1,848	△ 1,640	△ 47.0	3,489
与信関係費用	1,300	893	219.2	407

- 2行合算の経常収益は、前年同期比1億32百万円減少の372億86百万円(増減率△0.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億33百万円減少の41億53百万円(増減率△7.4%)となりました。
- 経常利益は与信関係費用の増加および株式等関係損益の減少などから前年同期比15億62百万円減少の27億53百万円、当期純利益は前年同期比16億40百万円減少の18億48百万円となりました。

(単位:百万円)



# ① 損益の状況

## ③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	2019年3月期		増減率	2018年3月期
	2019年3月期	前年同期比		
経常収益	21,097	△ 555	△ 2.5	21,652
業務粗利益	16,891	△ 678	△ 3.8	17,570
資金利益	14,850	△ 1,968	△ 11.7	16,818
役務取引等利益	1,454	117	8.7	1,337
その他業務利益	586	1,172	-	△ 585
うち国債等債券損益	13	633	-	△ 620
経費(除く臨時処理分)	14,339	△ 918	△ 6.0	15,258
うち人件費	7,077	△ 571	△ 7.4	7,648
うち物件費	6,307	△ 244	△ 3.7	6,551
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,551	240	10.3	2,311
コア業務純益	2,538	△ 393	△ 13.4	2,931
①一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
業務純益	2,551	240	10.3	2,311
臨時損益	△ 805	△ 963	△ 608.3	158
②うち不良債権処理額	554	348	168.4	206
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	393	104	35.9	289
うち株式等関係損益	△ 159	△ 759	△ 126.6	599
経常利益	1,745	△ 723	△ 29.3	2,469
特別損益	△ 279	△ 104	-	△ 174
当期純利益	1,008	△ 944	△ 48.3	1,952
与信関係費用	160	249	-	△ 88

- 経常収益は、株式相場下落の影響により有価証券利息配当金が減少したことなどから、前年同期比5億55百万円減少の210億97百万円(増減率△2.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が前年同期比で9億18百万円減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億93百万円減少の25億38百万円(増減率△13.4%)となりました。
- 臨時損益は、株式相場下落による保有株式の損失処理及び減損処理を実施したことなどから、前年同期比9億63百万円減少の△8億5百万円となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比2億49百万円増加の1億60百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比7億23百万円減少の17億45百万円、当期純利益は前年同期比9億44百万円減少の10億8百万円となりました。

## ④ 仙台銀行単体

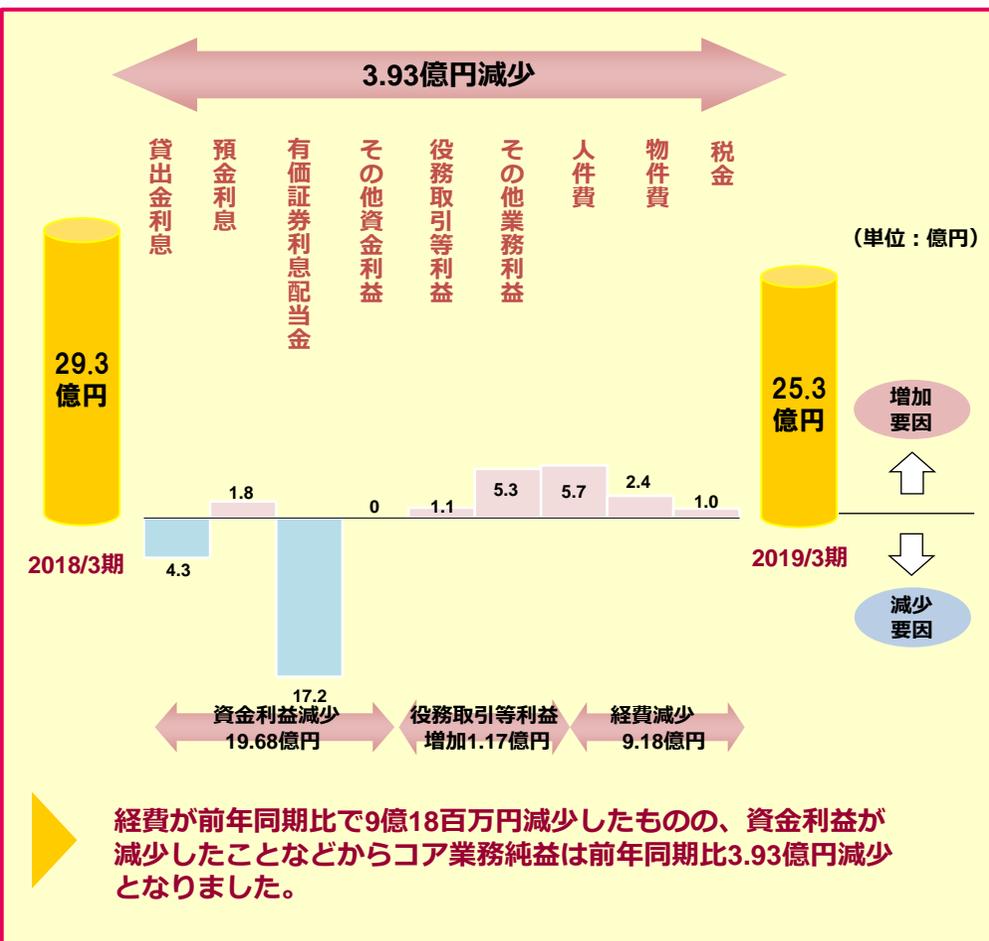
(単位:百万円、%)

	2019年3月期		増減率	2018年3月期
	2019年3月期	前年同期比		
経常収益	16,189	422	2.6	15,766
業務粗利益	11,969	△ 129	△ 1.0	12,099
資金利益	11,794	△ 5	△ 0.0	11,800
役務取引等利益	565	28	5.2	537
その他業務利益	△ 390	△ 152	-	△ 238
うち国債等債券損益	△ 300	△ 113	-	△ 187
経費(除く臨時処理分)	10,655	△ 76	△ 0.7	10,731
うち人件費	5,370	204	3.9	5,166
うち物件費	4,453	△ 222	△ 4.7	4,675
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,314	△ 53	△ 3.9	1,368
コア業務純益	1,615	59	3.8	1,555
①一般貸倒引当金繰入額	154	274	-	△ 119
業務純益	1,160	△ 327	△ 22.0	1,488
臨時損益	△ 153	△ 510	-	357
②うち不良債権処理額	986	366	59.1	619
うち個別貸倒引当金繰入額	377	△ 92	△ 19.7	470
(貸倒償却引当費用①+②)	1,140	640	128.1	500
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	775	△ 99	△ 11.3	875
経常利益	1,007	△ 838	△ 45.4	1,845
特別損益	△ 110	13	-	△ 124
当期純利益	840	△ 696	△ 45.3	1,536
与信関係費用	1,139	643	129.7	495

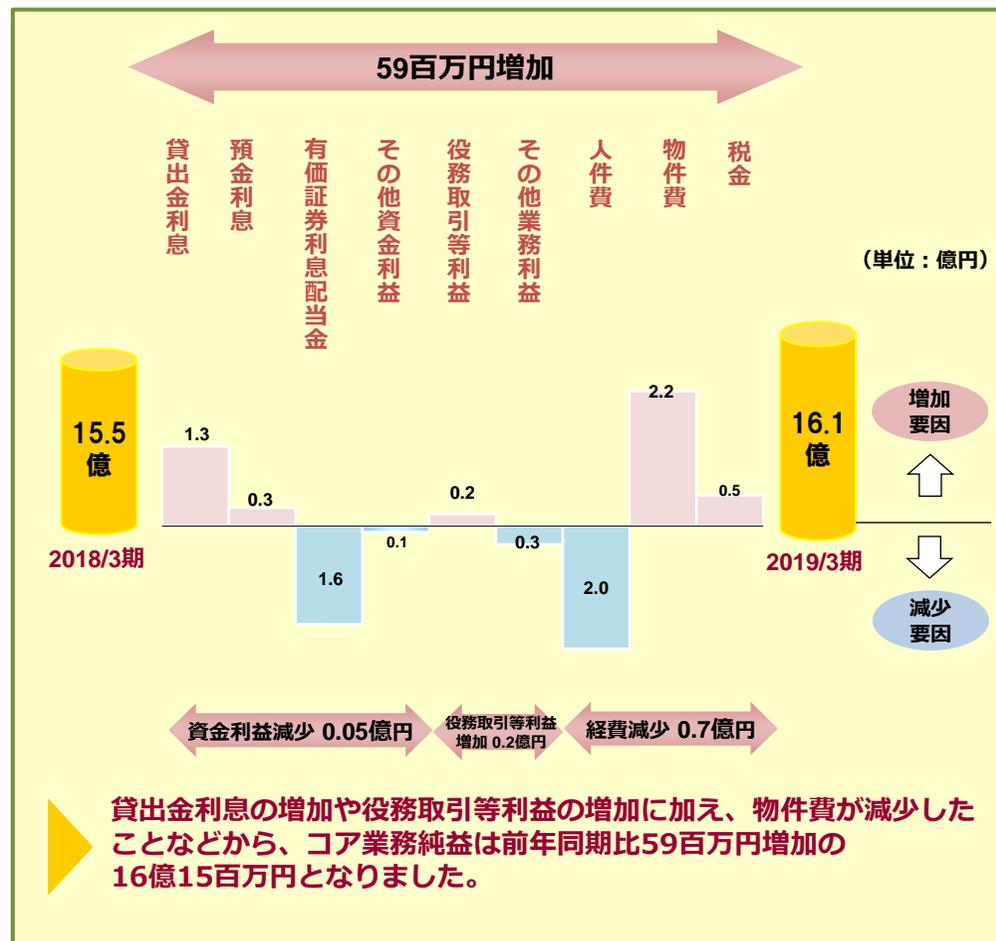
- 経常収益は、有価証券利息配当金が減少したものの、貸出金利息、生命保険販売手数料、株式等売却益、国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比4億22百万円増加の16億89百万円となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、生命保険販売手数料の増加等による役務取引等利益の増加に加え、物件費が減少したことなどから、前年同期比59百万円増加の16億15百万円となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額および不良債権処理額の増加等により、前年同期比6億43百万円増加の11億39百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比8億38百万円減少の10億7百万円、当期純利益は前年同期比6億96百万円減少の8億40百万円となりました。

## ② コア業務純益の増減要因

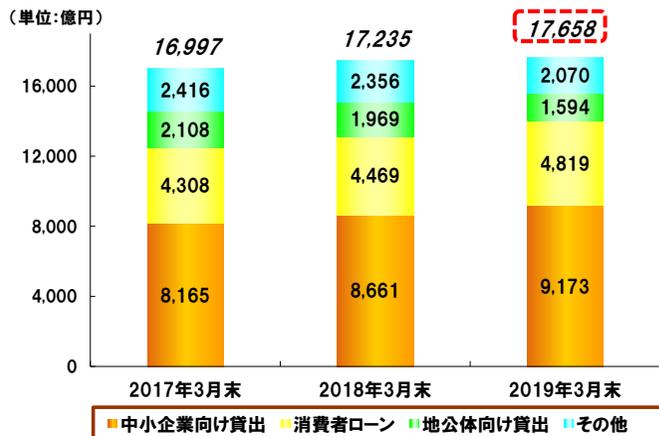
### ① きらやか銀行



### ② 仙台銀行



## ① 2行合算

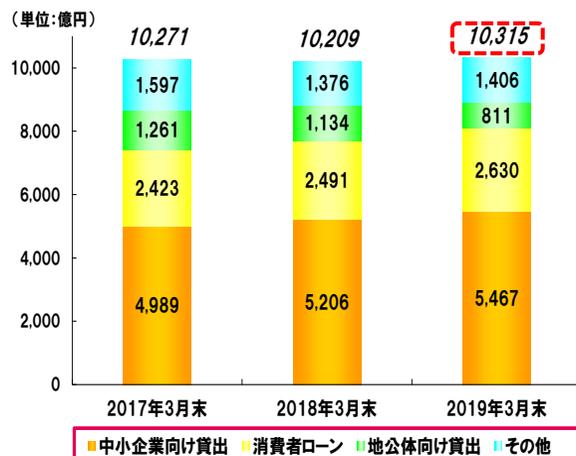


(単位: 百万円, %)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
貸出金(未残)	1,765,823	42,284	2.4	1,723,539
うち中小企業向け貸出残高	917,353	51,183	5.9	866,170
うち消費者ローン	481,914	34,981	7.8	446,933
うち住宅ローン	438,692	35,531	8.8	403,160
うち地方公共団体向け貸出	159,487	△ 37,439	△ 19.0	196,927

- 2行合算の貸出金残高は、2018年3月末比422億84百万円増加の1兆7,658億23百万円となりました。

## ② きらやか銀行

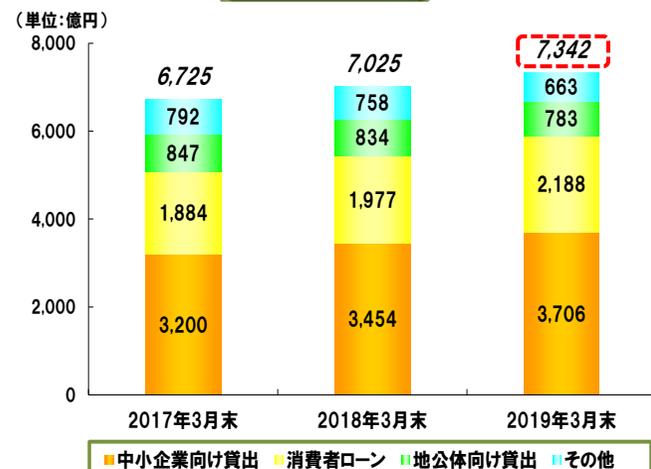


(単位: 百万円, %)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
貸出金(未残)	1,031,556	10,594	1.0	1,020,961
うち中小企業向け貸出残高	546,705	26,020	4.9	520,685
うち消費者ローン	263,029	13,852	5.5	249,177
うち住宅ローン	245,802	14,622	6.3	231,180
うち地方公共団体向け貸出	81,124	△ 32,353	△ 28.5	113,477

- 貸出金残高は、地公体向け貸出が減少したものの、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことにより、2018年3月末比105億94百万円増加の1兆315億56百万円となり、きらやか銀行として過去最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果2018年3月末比260億20百万円増加の5,467億5百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2018年3月末比138億52百万円増加の2,630億29百万円となりました。

## ③ 仙台銀行



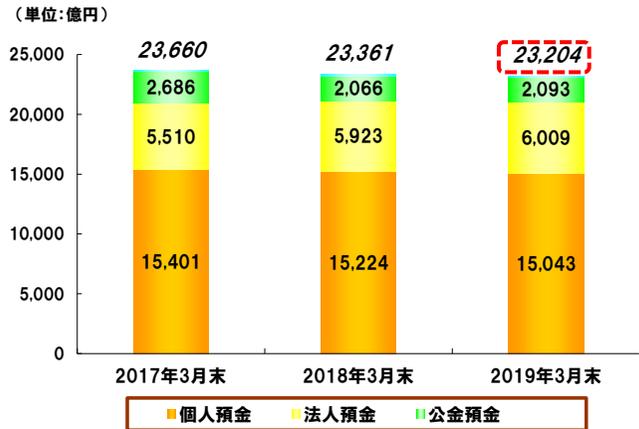
(単位: 百万円, %)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
貸出金(未残)	734,267	31,689	4.5	702,577
うち中小企業向け貸出残高	370,648	25,163	7.2	345,485
うち消費者ローン	218,885	21,129	10.6	197,756
うち住宅ローン	192,889	20,909	12.1	171,980
うち地方公共団体向け貸出	78,363	△ 5,086	△ 6.0	83,450

- 貸出金残高は、2018年3月末比316億89百万円増加の7,342億67百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客様の資金需要へ積極的に対応したことから、2018年3月末比251億63百万円増加の3,706億48百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン等の増加により、2018年3月末比211億29百万円増加の2,188億85百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、2018年3月末比50億86百万円減少の783億63百万円となりました。

# ④預金（譲渡性預金を含む）の状況

## ① 2行合算



(単位:百万円,%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,320,496	△ 15,678	△ 0.6	2,336,175
うち個人預金	1,504,351	△ 18,054	△ 1.1	1,522,406
うち法人預金	600,985	8,658	1.4	592,327
うち公金預金	209,384	2,739	1.3	206,645

- 2行合算の預金残高は、2018年3月末比156億78百万円減少の2兆3,204億96百万円となりました。

## ② きらやか銀行



(単位:百万円,%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,264,300	△ 27,711	△ 2.1	1,292,011
うち個人預金	853,948	△ 22,974	△ 2.6	876,923
うち法人預金	364,082	1,985	0.5	362,096
うち公金預金	42,950	2,153	5.2	40,796

- 預金残高は、2018年3月末比27億711百万円減少の1兆2,643億円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどにより、2018年3月末比229億74百万円減少の8,539億48百万円となりました。
- 法人預金は、中小企業向け預金を中心に、2018年3月末比19億85百万円増加の3,640億82百万円となりました。

## ③ 仙台銀行



(単位:百万円,%)

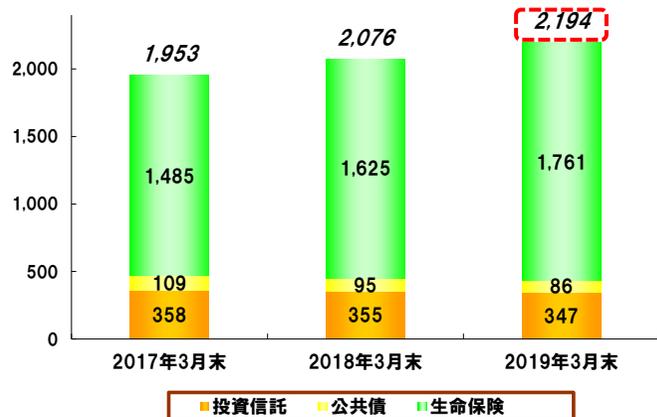
	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,056,196	12,032	1.1	1,044,163
うち個人預金	650,403	4,920	0.7	645,483
うち法人預金	236,903	6,672	2.8	230,230
うち公金預金	166,434	585	0.3	165,848

- 預金残高は、2018年3月末比120億32百万円増加の1兆561億96百万円となりました。
- 個人預金は、2018年3月末比49億20百万円増加の6,504億3百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、2018年3月末比66億72百万円増加の2,369億3百万円となりました。
- 公金預金は、2018年3月末比5億85百万円増加の1,664億34百万円となりました。

# ⑤ 預かり資産の状況

## ① 2行合算

(単位:億円)



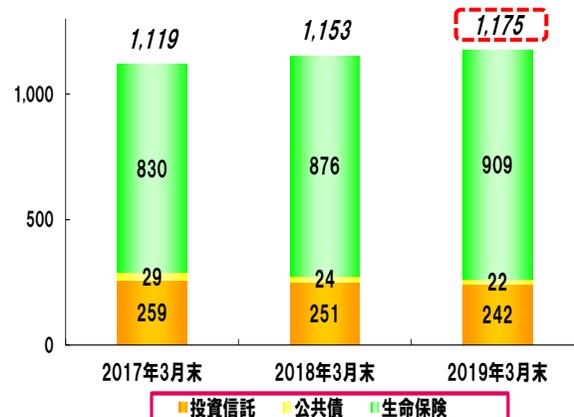
(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預かり資産(未残)	219,433	11,816	5.6	207,617
うち投資信託	34,715	△ 830	△ 2.3	35,545
うち公共債(国債等)	8,618	△ 932	△ 9.7	9,550
うち生命保険	176,100	13,579	8.3	162,521

- 2行合算の預かり資産残高は、2018年3月末比118億16百万円増加の2,194億33百万円となりました。

## ② きらやか銀行

(単位:億円)



(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預かり資産(未残)	117,503	2,182	1.8	115,320
うち投資信託	24,286	△ 899	△ 3.5	25,186
うち公共債(国債等)	2,264	△ 197	△ 8.0	2,462
うち生命保険	90,951	3,280	3.7	87,670

- 預かり資産残高は、2018年3月末比21億82百万円増加の1,175億3百万円となりました。
- 投資信託は、2018年3月末比8億99百万円減少の242億86百万円となりました。
- 公共債は、2018年3月末比1億97百万円減少の22億64百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズへの対応により、2018年3月末比32億80百万円増加の909億51百万円となりました。

## ③ 仙台銀行

(単位:億円)



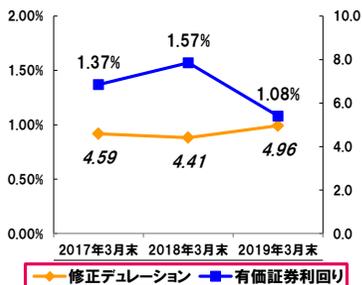
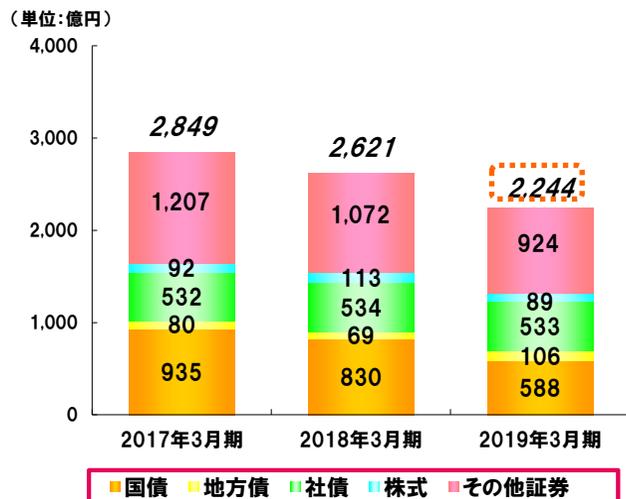
(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預かり資産(未残)	101,930	9,633	10.4	92,297
うち投資信託	10,428	69	0.6	10,359
うち公共債(国債等)	6,353	△ 734	△ 10.3	7,087
うち生命保険	85,148	10,298	13.7	74,850

- 預かり資産残高は、2018年3月末比96億33百万円増加の1,019億30百万円となりました。
- 投資信託は、2018年3月末比69百万円増加の104億28百万円となりました。
- 公共債は、2018年3月末比7億34百万円減少の63億53百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、2018年3月末比102億98百万円増加の851億48百万円となりました。

# ⑥ 有価証券の状況

## ① きらやか銀行

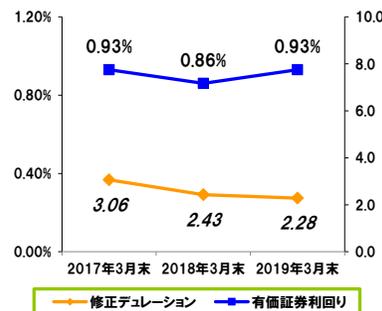
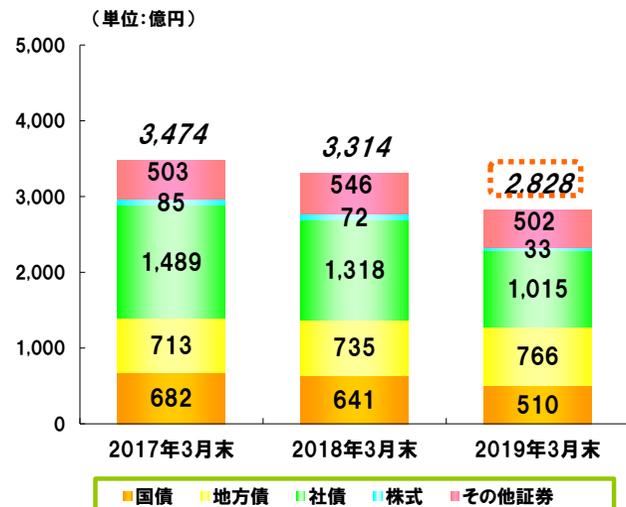


その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
その他有価証券	△ 1,263	668	△ 1,932
株式	△ 178	△ 788	610
債券	1,231	385	846
その他	△ 2,316	1,072	△ 3,388

- 有価証券残高は、市場動向を踏まえ、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、2018年3月末比376億79百万円減少の2,244億21百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金利の低下により債券等の評価益が増加したことや、株価変動リスクへの対応などから、2018年3月末比6億68百万円増加し、12億63百万円の評価損となりました。
- 保有債券の修正デュレーション（固定債のみ） 4.96（前年比0.55）

## ② 仙台銀行



その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

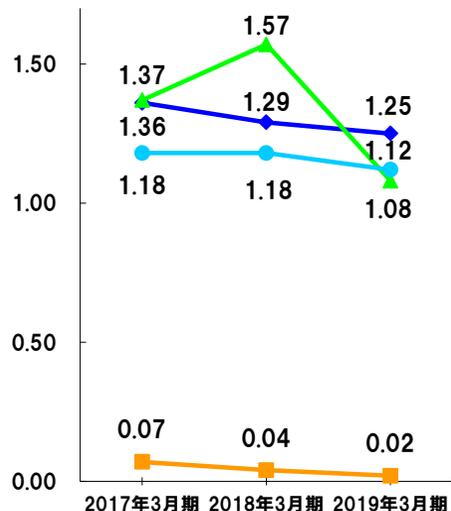
	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
その他有価証券	2,201	△ 1,251	3,453
株式	854	△ 1,389	2,244
債券	1,843	△ 890	2,734
その他	△ 496	1,028	△ 1,525

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向に留意しながら資金運用に努めたことから、2018年3月末比485億99百万円減少の2,828億30百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、株式や債券の売却による評価益の実現や、含み益を抱えていた債券の償還により、2018年3月末比12億51百万円減少し、22億1百万円の評価益となりました。
- 保有債券の修正デュレーション（固定債のみ） 2.28（前年比△0.15）

# ⑦各種利回り・利鞘の状況

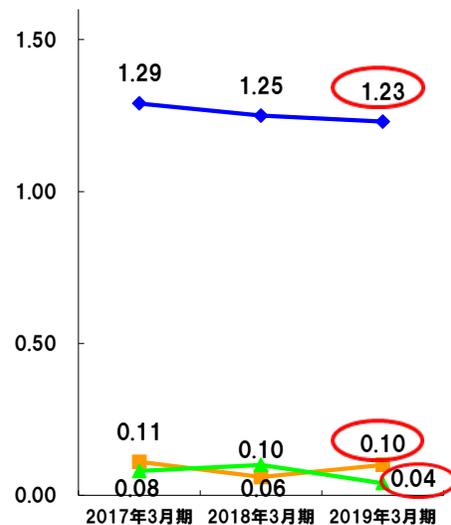
## ① きらやか銀行

(単位:%)



◆ 貸出金利回    □ 預金利回  
▲ 有価証券利回    ● 経費率

(単位:%)

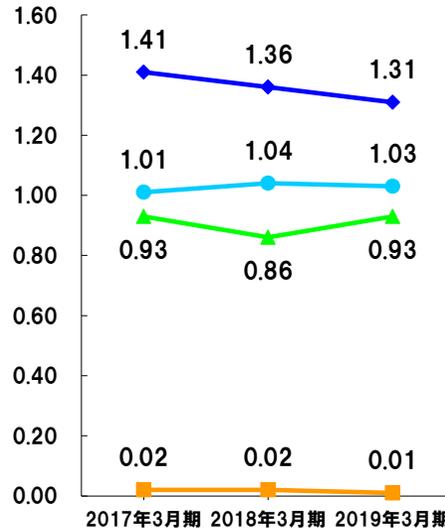


◆ 預貸金利回差    □ 預貸金利鞘  
▲ 総資金利鞘

- 預貸金利回差 1.23% (前年同期比 0.02p低下)  
貸出金利回 (0.04p低下) が低下したことから、前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.10% (前年同期比0.04p上昇)  
貸出金利回 (0.04p低下) が低下したものの、預金調達コストが減少したことにより、前年同期比プラスとなりました。
- 総資金利鞘 0.04% (前年同期比0.06p低下)  
資金運用利回が0.13p低下したことから、前年同期比マイナスとなりました。

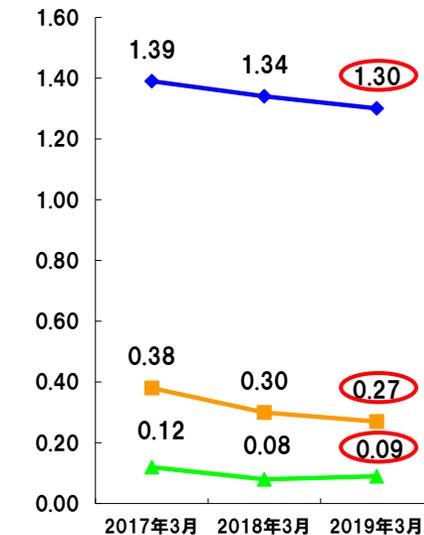
## ② 仙台銀行

(単位:%)



◆ 貸出金利回    □ 預金利回  
▲ 有価証券利回    ● 経費率

(単位:%)



◆ 預貸金利回差    □ 預貸金利鞘  
▲ 総資金利鞘

- 預貸金利回差 1.30% (前年同期比0.04p低下)  
貸出金利回 (0.05p低下) が低下したことから、前年同期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.27% (前年同期比0.03p低下)  
経費が減少したものの、預貸金利回差が縮小したことから、前年同期比マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.09% (前年同期比0.01p上昇)  
資金調達原価が0.01p低下したことから、前年同期比プラスとなりました。

① きらやか銀行



(単位: 百万円)

	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
一人当たり預金	1,334	1,331	1,312
一人当たり貸出金	1,057	1,051	1,071
一店舗当たり預金	17,996	20,508	20,391
一店舗当たり貸出金	14,266	16,206	16,638
店舗数(店)	72	63	62
行員数(人)	971	971	963

※店舗数については、ランチ・イン・ランチ実施店を1店舗として計上。  
インターネット支店1か店を含む。  
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は前年同期比9億18百万円減少の143億39百万円となりました。
- コアOHRはコア業務粗利益の減少などにより前年同期比1.08ポイント上昇し84.96%となりました。

② 仙台銀行



(単位: 百万円)

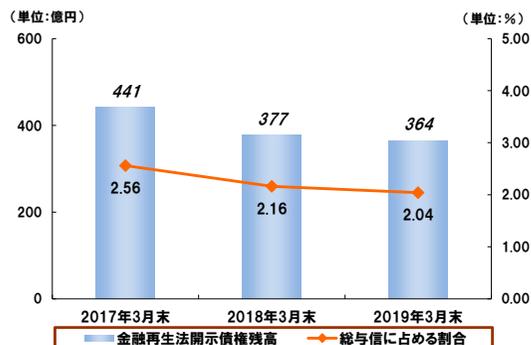
	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
一人当たり預金	1,580	1,495	1,419
一人当たり貸出金	993	1,006	986
一店舗当たり預金	17,262	17,402	18,860
一店舗当たり貸出金	10,847	11,709	13,111
店舗数(店)	62	60	56
行員数(人)	677	698	744

※店舗数については、ランチ・イン・ランチ実施店を1店舗として計上。  
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、物件費の減少などにより前年同期比76百万円減少の106億55百万円となりました。
- コアOHRは経費の減少に加え、コア業務粗利益が増加したため、前年同期比0.50ポイント低下の86.83%となりました。

# ⑨ 金融再生法開示債権の状況

## ① 2行合算



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

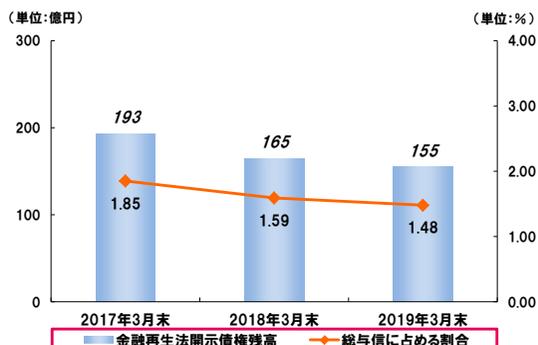
	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,618	△ 125	4,744
危険債権	27,534	△ 1,105	28,639
要管理債権	4,305	△ 109	4,415
合計 (A)	36,458	△ 1,341	37,799
正常債権	1,750,500	46,134	1,704,365
総与信額 (B)	1,786,958	44,793	1,742,165
( A / B )	2.04	△ 0.12	2.16

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,618	4,618	2,997	100.00
危険債権	27,534	24,876	20,390	90.34
要管理債権	4,305	1,015	684	23.57
合計	36,458	30,509	24,072	83.68

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2018年3月末比13億41百万円減少の364億58百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.12ポイント低下の2.04%となりました。

## ② きらやか銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,050	△ 291	3,342
危険債権	9,565	△ 817	10,383
要管理債権	2,937	143	2,794
合計 (A)	15,554	△ 965	16,520
正常債権	1,034,588	14,212	1,020,375
総与信額 (B)	1,050,143	13,246	1,036,896
( A / B )	1.48	△ 0.11	1.59

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,050	3,050	1,833	100.00
危険債権	9,565	7,563	7,038	79.06
要管理債権	2,937	578	272	19.69
合計	15,554	11,192	9,144	71.95

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、取引先企業の財務改善支援を組織的に実施した結果、2018年3月末比9億65百万円減少の155億54百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、2018年3月末比0.11ポイント低下の1.48%となりました。

## ③ 仙台銀行



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,567	166	1,401
危険債権	17,968	△ 287	18,256
要管理債権	1,367	△ 253	1,620
合計 (A)	20,903	△ 375	21,278
正常債権	715,911	31,921	683,990
総与信額 (B)	736,815	31,546	705,268
( A / B )	2.83	△ 0.18	3.01

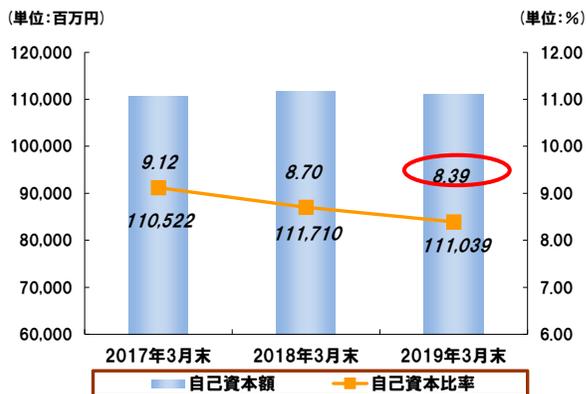
②金融再生法開示債権の保全状況(2019年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)
		担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,567	1,567	1,163	100.00
危険債権	17,968	17,312	13,351	96.35
要管理債権	1,367	436	412	31.92
合計	20,903	19,317	14,927	92.40

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2018年3月末比3億75百万円減少の209億3百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.18ポイント低下の2.83%となりました。

# ⑩ 自己資本比率の状況

## ① じもとホールディングス連結

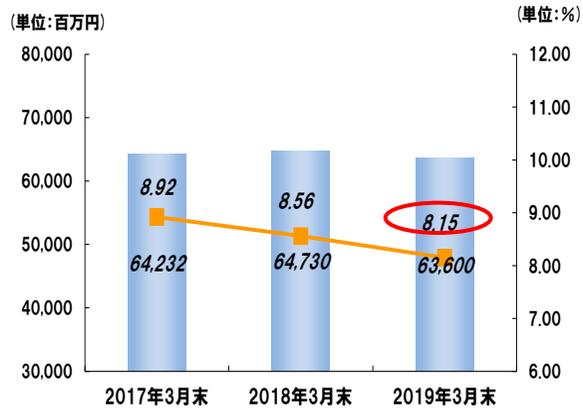


(単位: %)

	2019年	2018年		2018年
	3月末	3月末比	増減率	
連結自己資本比率	8.39	△ 0.31	△ 3.56	8.70

- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.39%となりました。

## ② きらやか銀行

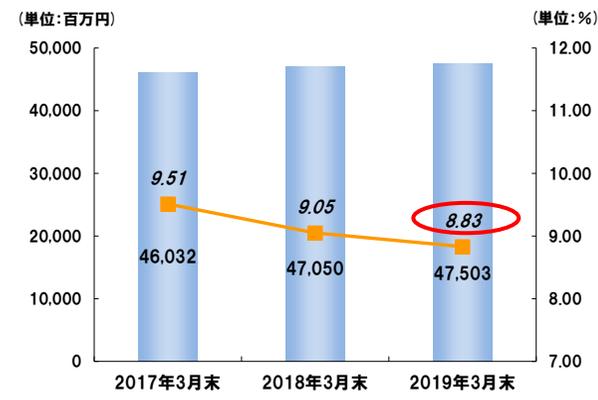


(単位: %)

	2019年	2018年		2018年
	3月末	3月末比	増減率	
自己資本比率[単体]	8.15	△ 0.41	△ 4.78	8.56
自己資本比率[連結]	8.05	△ 0.41	△ 4.84	8.46

- 単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、2018年3月末比0.41ポイント低下の8.15%となりました。

## ③ 仙台銀行

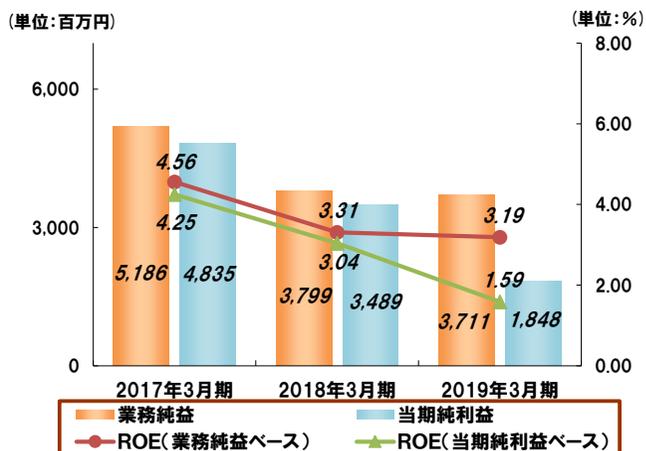


(単位: %)

	2019年	2018年		2018年
	3月末	3月末比	増減率	
自己資本比率	8.83	△ 0.22	△ 2.43	9.05

- 自己資本比率は、当期純利益を8億40百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、2018年3月末比0.22ポイント低下の8.83%となりました。

## ① 2行合算

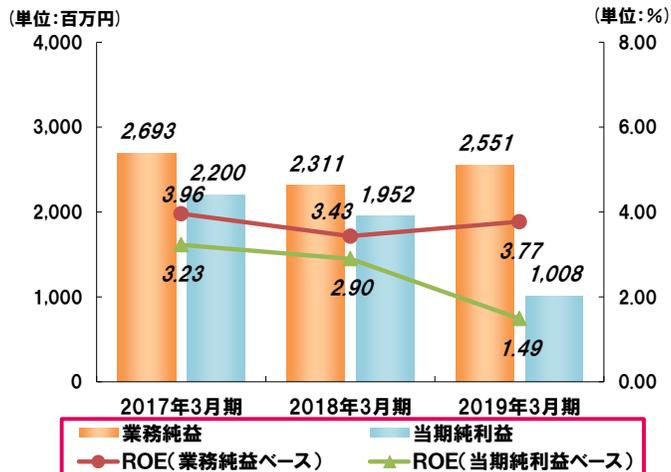


(単位: %)

		2019 3月期	2018 3月期比	2018 3月期
ROE	業務純益ベース	3.19	△ 0.12	3.31
	当期純利益ベース	1.59	△ 1.45	3.04

- 2019年3月期の2行合算のROE  
業務純益ベース 3.19% (前年同期比△0.12p)  
当期純利益ベース 1.59% (前年同期比△1.45p)

## ② きらやか銀行

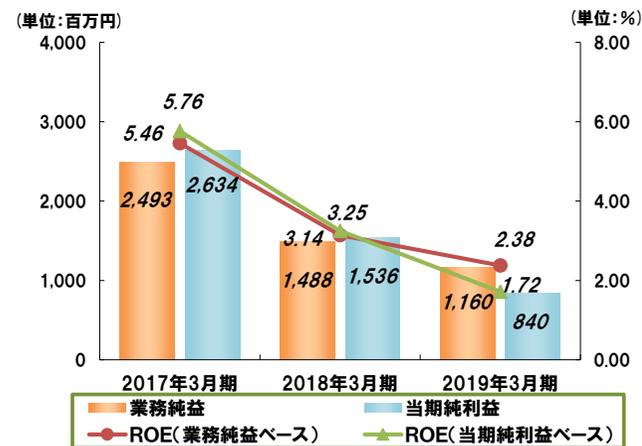


(単位: %)

		2019 3月期	2018 3月期比	2018 3月期
ROE	業務純益ベース	3.77	0.34	3.43
	当期純利益ベース	1.49	△ 1.41	2.90

- 2019年3月期のきらやか銀行のROE  
業務純益ベース 3.77% (前年同期比0.34p)  
当期純利益ベース 1.49% (前年同期比△1.41p)

## ③ 仙台銀行



(単位: %)

		2019 3月期	2018 3月期比	2018 3月期
ROE	業務純益ベース	2.38	△ 0.76	3.14
	当期純利益ベース	1.72	△ 1.53	3.25

- 2019年3月期の仙台銀行のROE  
業務純益ベース 2.38% (前年同期比△0.76p)  
当期純利益ベース 1.72% (前年同期比△1.53p)

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

(単位:百万円)

	2020年3月期		(参考) 2019年3月期 実績
		中間期	
経常利益	2,200	600	2,592
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000	500	1,630

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)2019年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

- じもとホールディングスの2020年3月期の連結業績予想は、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2019年3月期の1株あたりの期末配当金は、2円50銭を予定しております。また、2020年3月期の年間配当金は、1株あたり5円を予定しております。

② 子銀行の個別業績予想

きらやか銀行

(単位:百万円)

	2020年3月期		(参考) 2019年3月期 実績
		中間期	
経常利益	1,600	500	1,745
当期純利益	1,400	400	1,008

仙台銀行

(単位:百万円)

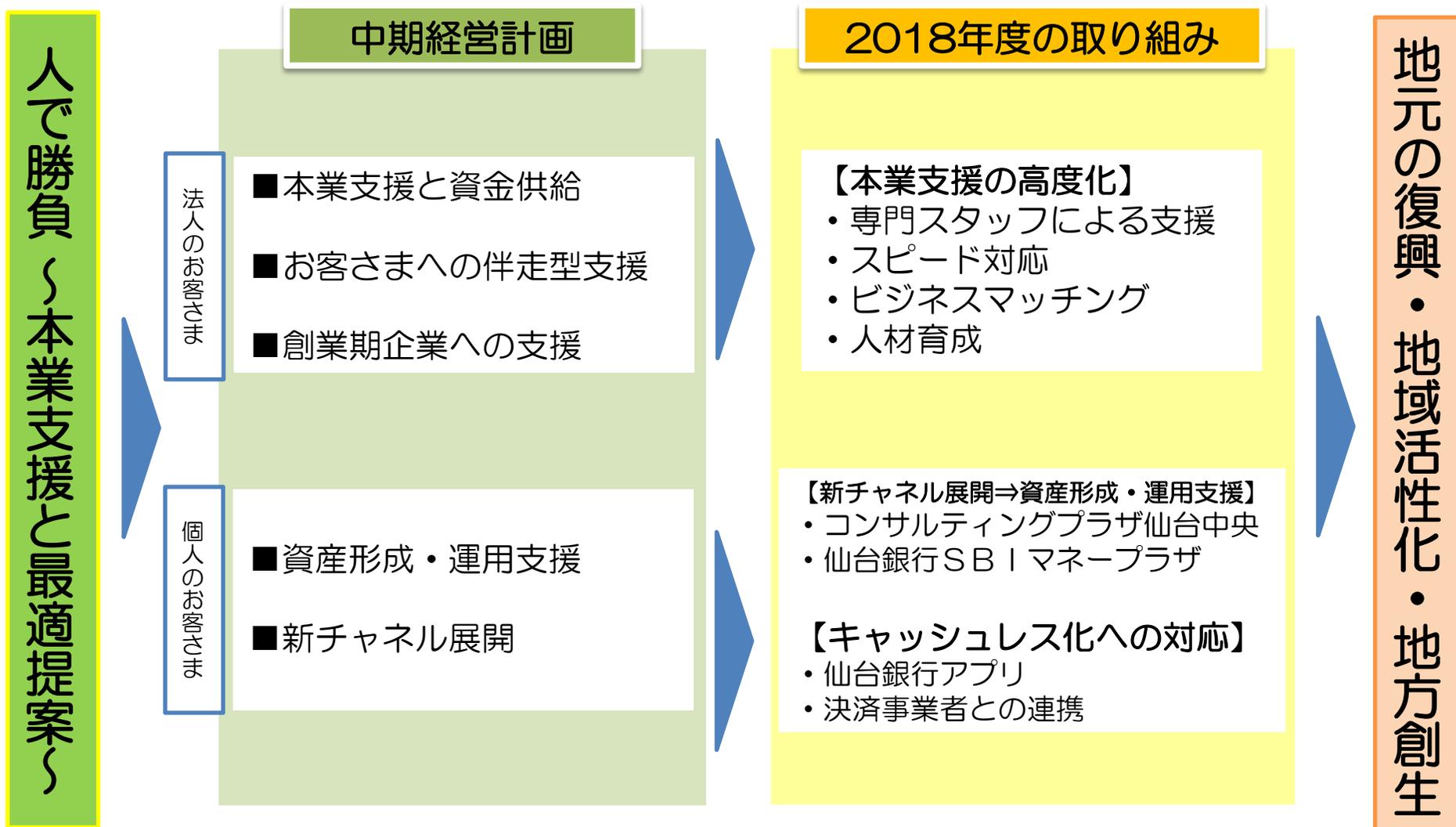
	2020年3月期		(参考) 2019年3月期 実績
		中間期	
経常利益	1,000	300	1,007
当期純利益	900	300	840

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益16億円、当期純利益14億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益10億円、当期純利益9億円を見込んでおります。

---

## 2. 仙台銀行の取組みについて

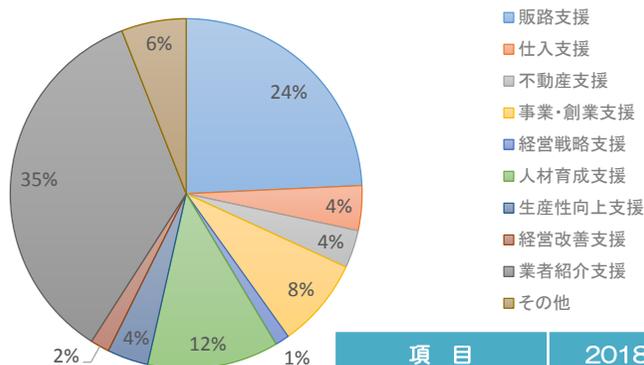
## 仙台銀行の取組み(全体)



# 本業支援の高度化

## 主な本業支援の実績

多様化する経営課題に対応しております



項目	2018年度
本業支援成約先数	916先
本業支援成約件数	1,377件

## 融資スピード対応

お客さまのご相談にスピーディに対応し、経営課題の解決に向け取り組んでいます

(申込から融資までの平均日数)

運転資金	設備資金
8.3日	10.6日

## 人材育成

資格取得をはじめ、人材育成に取組み、本業支援の高度化に努めています

### 本業支援関連研修の実施状況

研修実施回数	参加者数
39回	883名



### 職員の資格取得状況 (2019年3月末現在)

資格名称	資格取得者	資格名称	資格取得者
中小企業診断士	3名	医療経営士2級	2名
不動産鑑定士	1名	医療経営士3級	8名
農業経営上級アドバイザー	1名	動産評価アドバイザー	2名
農業経営アドバイザー	19名	1級FP技能士	28名
2級FP技能士	247名	3級FP技能士	579名
水産業経営アドバイザー	1名	宅地建物取引士	45名
M&Aシニアエキスパート	4名		

※FP：ファイナンシャル・プランナー

# 本業支援事例(創業支援・事業承継)

内科循環器科「A医院」



A院長

- 【医院を引き継ぎたい】
- ・自身の年齢も考慮し、リタイアを検討している
  - ・後継者がいない
  - ・地域医療を守るために医院を閉めるわけにはいかない

事業承継 ⇒ 開業を検討



仙台銀行は…

- ☆ スピード感がある
- ☆ 専門スタッフがいる
- ☆ 創業・起業する人の力になってくれる



米地 真 先生  
(総合病院勤務医 ※当時)

- 【独立開業したい】
- ・総合病院よりも、さらに患者さまに近いところで診療をしたい
  - ・長く勤務してきたこの地域で開業し、地域医療に貢献したい



仙台銀行地元企業応援部  
工藤行員 (2級医療経営士)

- ①銀行が主体となり事業承継スキーム構築、事業計画策定
- ②本支店、各外部機関との連携
- ③新旧院長、スタッフ、地域のメリットを追求

- ☆ 地域医療の継続
- ☆ 新旧院長の想いを実現

よねち内科クリニック

<引継完了・開院>

- 【米地院長のコメント】
- ・担当者が医療について非常に詳しく
  - ・様々な提案、アドバイスを銀行から積極的にもらえた
  - ・スピード感があり、迅速にプロジェクトが進んだ



## ビジネスマッチングで新商品誕生

つつみ屋 × シーフーズあかま

### 藻塩大福



(左)つつみ屋  
常務取締役  
小原 学 様

かねてより、地元の食材を使用したお菓子を作りたいと考えており、近年話題の食材「藻塩」を使った大福の商品開発に取り組みました。



弊社の「しおがまの藻塩」の開発から12年、東日本大震災などもあり、商品の活用や販路開拓に悩む中、「藻塩大福」が商品化され非常に嬉しく思います。



(右)シーフーズあかま  
代表取締役社長  
赤間 俊介様

ホテル佐勘 × 松倉

佐勘オリジナル

### 「ずんだせんべい」



ホテル佐勘  
販売部主任  
佐藤 真 様

オリジナルの新商品の開発を検討していたところ、松倉様を紹介いただきました。



商談までサポートしていただき、スムーズにやりとりが進み、良い新商品が完成しました。



セル松倉(株)  
代表取締役  
松倉 善輝 様

#### < 仙台銀行の本業支援 >

##### ①藻塩の仕入れ先を紹介

行内情報ネットワークを活用し、  
当行取引先で藻塩製造を行う  
「シーフーズあかま」さまを紹介

##### ②商品のPR方法をアドバイス

プレスリリースを提案

新聞掲載、売上好調

### 商談会を通じた販路拡大支援

お客さまの販路拡大等を支援するため、商談会の主催や、他県で開催される商談会への協力、取引先の紹介などを積極的に行っています。  
2018年度は、のべ95社のお取引先さまの商談会を支援し、169件の商談が行われ、うち38件が成約となりました。



## 資産形成・運用支援

### コンサルティングプラザ仙台中央

2018年5月、中央通支店の2階に「コンサルティングプラザ仙台中央」がオープン。専門職員が最新システム技術を活用し、保険の見直しやライフプランに応じた保険選びなどについてゆっくりとご相談をお受けいたします。



### 仙台銀行SBIマネープラザ

2018年11月、当行本店ビル2階に「仙台銀行SBIマネープラザ」がオープンしました。金融機関とSBIマネープラザの共同店舗設立は、東北地区においては当行が“初”となります。

SBI証券の豊富なラインナップを対面でお客さまへご提案することで、資産運用のコンサルティング、アドバイスとともに多様な金融商品、サービスをご利用いただけます。

オープン以来、多数のお客さまよりご相談をいただいております。

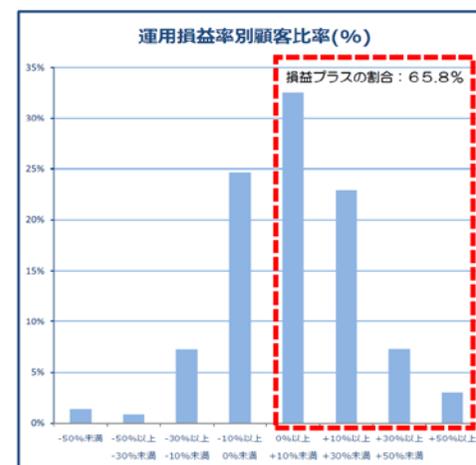


### 仙台銀行での投資信託運用について (共通KPIの公表)

2018年5月に公表した「お客さま本位の業務運営宣言」に基づくアクションプラン・KPIのなかで、「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」を新たに追加しました。

2019年3月末を基準として、当行に投資信託を保有するお客さまのうち、プラスリターン（運用損益がプラス）のお客さまの割合は、全体の半数以上となる65.8%となりました。

今後も当行はお客さまのニーズにお応えし、最適提案による資産形成・運用支援を行ってまいります。



## キャッシュレスへの対応

### 「仙台銀行アプリ」をリリース

2018年12月、個人向けスマートフォンアプリ「仙台銀行アプリ」の取り扱いを開始しました。本アプリでは、当行口座の残高や入金明細をご確認いただけるほか、株式会社マネーフォワードが提供する「おさいふ管理」機能をご利用いただくことにより、他行口座やクレジットカード、電子マネーなど、様々な金融関連サービスの利用状況を一括管理することができます。

iPhoneをご利用の方



Androidをご利用の方



スマホで節約!

# 仙台銀行アプリ

いつでもどこでも、残高と家計簿チェック!  
お金と時間を節約。

Download on the App Store | Google Play で手に入れよう

・Apple、Appleロゴ、iPhoneは米国での登録されたApple Inc.の商標です。  
・iPhoneの画面は、Apple Inc.の登録されたデザインに基づいて表示されています。  
・LINE、楽天などの他の登録されたサービスの商標で、そのライセンスに基づいて表示されています。  
・App StoreはApple Inc.のサービスマークです。  
・Android、Google PlayはGoogle Play LLCの商標です。

### 決済事業者との連携強化

急速に進むキャッシュレス化への対応として、各資金決済事業者との連携を強化し、「LINE Pay」や「Origami Pay」、「メルペイ」などの即時口座振替サービスに対応しております。

仙台銀行の口座からラクラク決済

#### 電子マネー・スマホ決済サービス

### 「キャッシュレス決済導入セミナー」を開催

地域の中規模店舗、事業者様を対象に「キャッシュレス決済導入セミナー」を開催しました。2019年3月には、日本政策金融公庫と、4月には杜の都信用金庫、塩釜商工会議所との連携により開催し、キャッシュレス決済の概要やメリット等について説明を行いました。



## その他トピックス(2018年度)

### 2018年度「いきいき男女・にこにこ子育て 応援企業表彰」において、最優秀賞企業

宮城県が実施する、2018年度「いきいき男女・にこにこ子育て応援企業表彰」において、最優秀賞企業に選定されました。企業主導型保育施設の設置や、有給休暇の取得促進などのワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み、女性活躍推進に向けた取り組みが評価され、受賞に至ったものです。

今後も働きがいと働きやすさを両立する組織を作ることで企業力を高め、「人で勝負する銀行」を目指してまいります。



### コンビニATMサービス拡大(24時間化)

2018年12月より、コンビニATM（セブン銀行、ローソン銀行、イーネット）のサービス時間を24時間に拡大し、より便利にご利用いただけるようになりました。



### 仙台銀行ホールイズミティ21 「ロビーコンサート2018」へ協賛

2018年11月14日・15日、仙台銀行ホールイズミティ21にて「ロビーコンサート2018」が開催され、当行は昨年に引き続き協賛を行いました。

今後も仙台市と連携を図りながら、地域の皆さまの文化活動への支援を通じて、震災からの復興と地域経済の活性化に貢献してまいります。



### 石巻支店リニューアルオープン

2019年1月、石巻支店は、約5ヶ月にわたる大規模修繕工事を終え、リニューアルオープンしました。

入口へのスロープ導入や駐車場の再整備、営業室内の照明LED化など、設備の充実化を図り、お客さまにより快適にご利用いただける環境となりました。

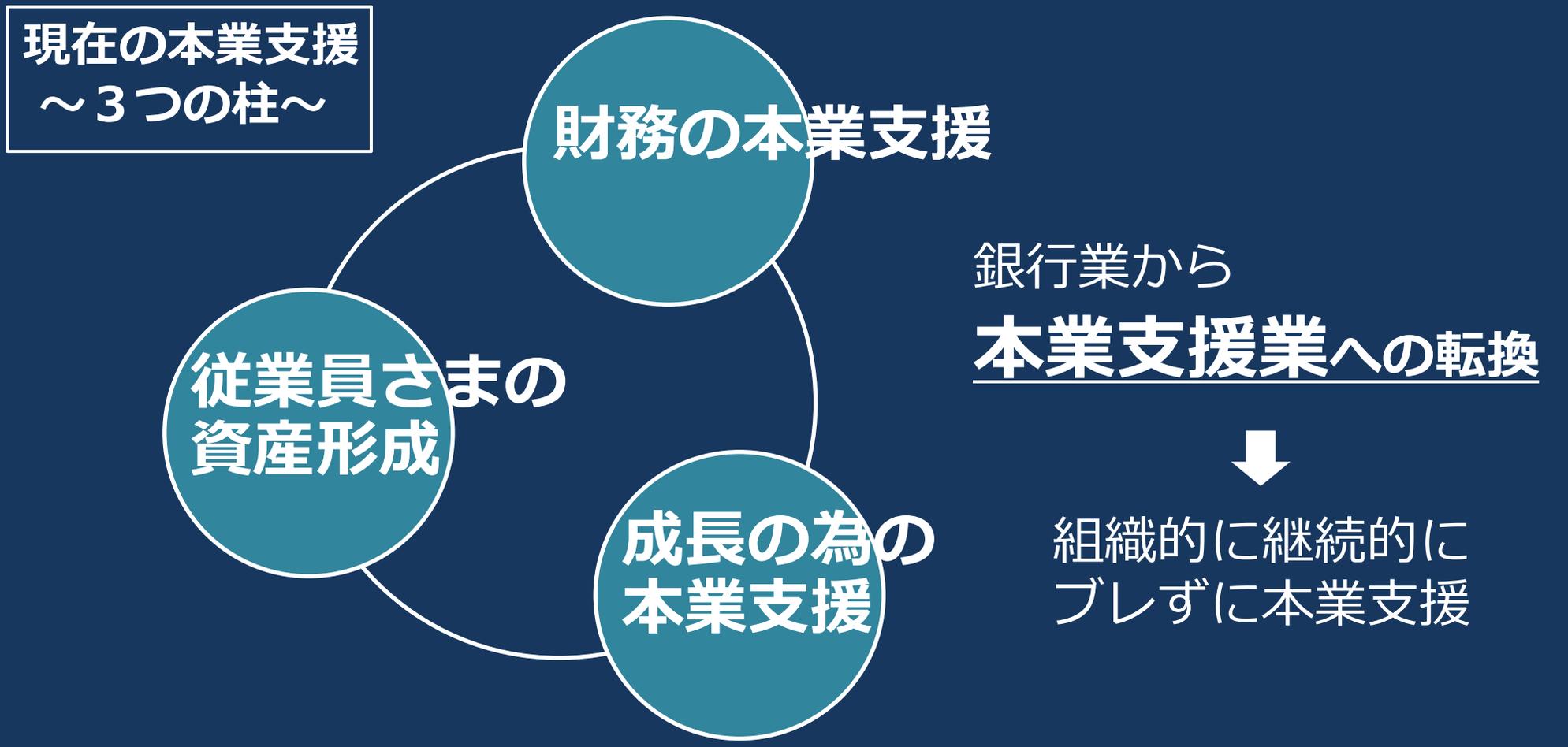


### 3. きらやか銀行の取組みについて

” 私たちの想い”

本業支援を通して

地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただき地域と共に生きること。



## きらやか銀行の「本業支援」

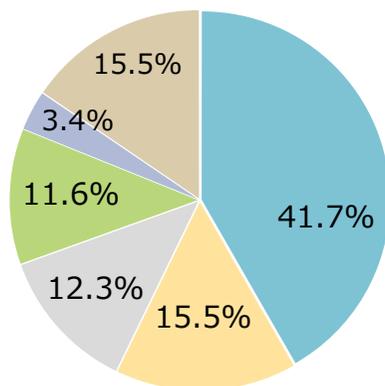
項目	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比
本業支援成約先数	3,439 先	3,500 先	+61 先
本業支援成約件数	6,029 件	5,548 件	△481 件

<財務と成長の為の本業支援の実績>

財務の本業支援 先数	2,512 先	2,817 先	+305 先
成長の為の本業支援 先数	1,446 先	1,232 先	△214 先

### <本業支援の内容>

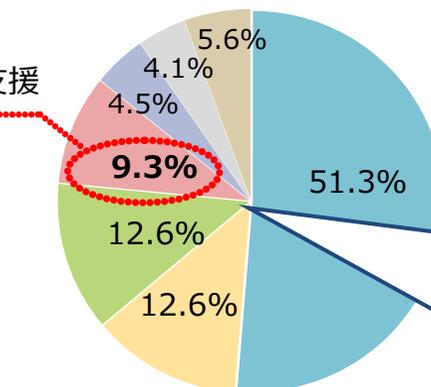
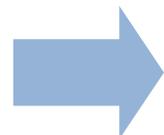
(2018年3月期)



- 財務の本業支援
- 販路支援
- 経費削減・効率化支援
- 仕入支援
- 専門家紹介
- その他

(2019年3月期)

福利厚生支援



- 財務の本業支援
- 販路支援
- 経費削減・効率化支援
- 仕入支援
- 専門家紹介
- 福利厚生支援
- その他

2019年1月より開始した新サービス、従業員さま向け福利厚生サービス「ふっくりパッケージ」により福利厚生支援が増加しております。

2018年度成約件数 = 5,548件

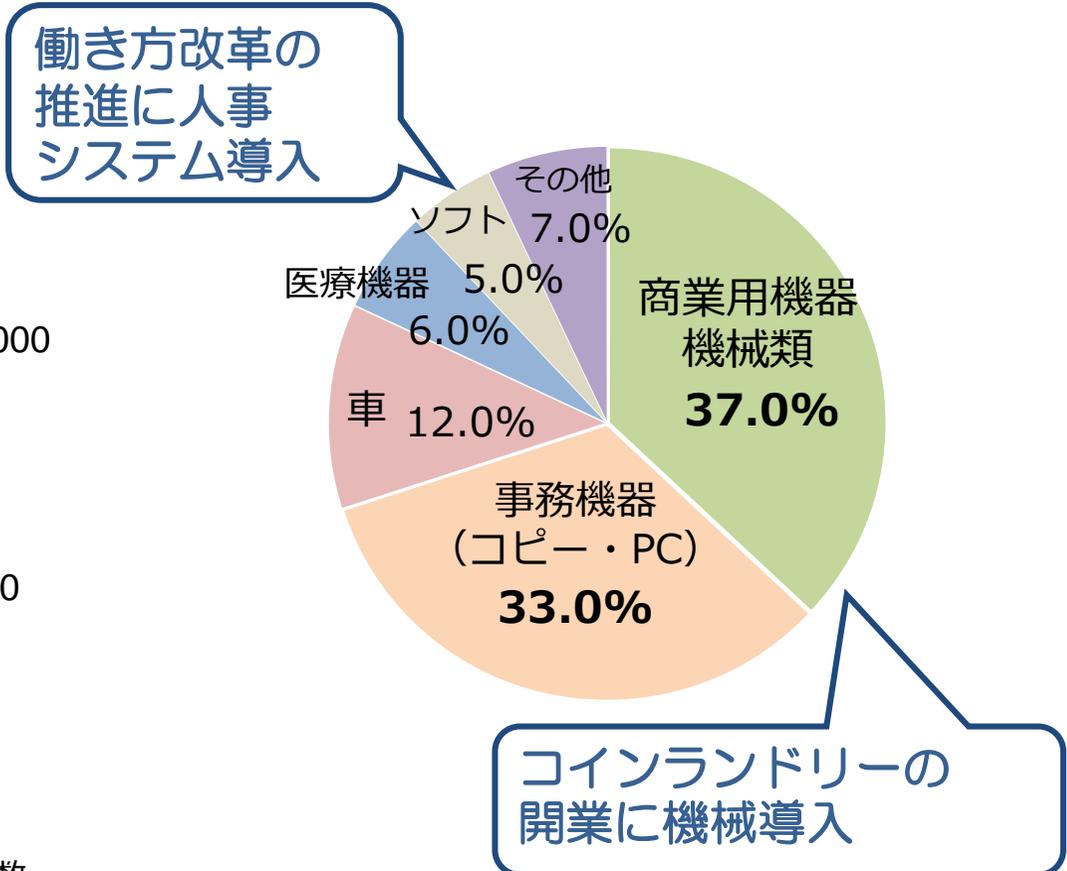
## リース業務の取組み

～銀行本体でのリース取扱い3年目突入～

<リースの実績>



<リースの取扱割合>



👉 事業展開に合わせた対応が可能です

財務と成長の為の本業支援事例

## 地域と共に歩んできた本業支援

蔵王温泉 若松屋旅館さま 1655年創業



### 社長の想い

- ・蔵王温泉の宿泊者数をもっと増加させたい
- ・天災や雪の状況に関わらずお客さまに来ていただきたい

⇒自社の発展を通して蔵王温泉をもっと盛り上げたい

歴代の担当者が継続的に社長と何度も話し合い一緒に考えてきた

### 財務の本業支援

本業へ専念できる時間の創出

### 成長の為の本業支援

ビジネスモデルを一緒に描く

#### ①ブランド化戦略の提案

【当社の強みである「斎藤茂吉」とのつながりをさらにPRし、ブランド化することを提案】

斎藤茂吉の誕生月にイベント（赤光祭）を開催

「3日間で130名超参加」⇒新しい切り口からの売上創造！

#### ②魅力あるメニューの提案

【お客さまの満足度を高める】

茂吉先生の大好物「うなぎ」料理提供支援

#### ③将来像の共有

経営・財務について特別な研修を受けた「共に生きるコンサルタント」（ともコン）が社長、後継者（常務）と一緒に将来に向けたビジネスモデルを作り始めた

企業にお勤めの従業員の皆さま向け 福利厚生サービス

ふっくりパッケージ

2019年1月サービス開始！

# 従業員さまの福利厚生を 充実させたい！

こんな  
新サービス  
始めました

従業員さまの資産形成を全面的にバックアップ

## 資産形成サービス

お預入やお借入の面で特別金利をご提供  
(お預入は通常金利の29倍)

## 特別優待サービス

「食」「暮らし」「癒し」をテーマにした  
「割引クーポン」(50店舗掲載)を贈呈

## 特別体験サービス

各種イベントにご招待



©2012, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No.G600958

すべて当行のお取引先です。

ふっくりパッケージ

多くの皆さまにご契約いただきました  
「ふっくりパッケージ」が  
**パワーアップ**しました!!

Menu.....1  
資産形成  
サービスが  
パワーアップ!

ふっくり口座金利が  
普通預金金利の  
29倍から

**100倍**  
2019年4月30日現在  
年0.029% → 年0.100%  
になりました!!

きらやかポイント100ポイントプレゼント!  
当行ATM 平日 **無料!!**  
時間外手数料が 休日

Menu.....2  
特別優待  
サービスが  
パワーアップ!

山形県内・仙台地区で利用できる  
「ふっくりパスポート」の掲載店が  
7月より**な・な・なんと!50店舗**  
から**120**店舗になり、  
大幅に**拡大**します!!

Menu.....3  
特別体験  
サービスが  
パワーアップ!

特別体験サービスクエジュール(予定)

開催日	テーマ	イベント名
7月	健康・美容	上山市クアオルト健康ウォーキング
8月		羽黒古道トレッキング
9月	遠足・体験	最上川舟下り&バーベキュー
10月		高畠ワイナリー&米沢道の駅
12月	健康・美容	野球場トレーニング体験
1月		
2月	健康・美容	女性限定 ピラティス&ヨガ
3月		

皆さまからご好評いただいていますきらやか銀行が  
企画するイベントを**各地区でドンドン開催して**  
**いきます!**  
皆さまのご参加をお待ちしております!!



企業さま向け あんしん経営サービス

## 共に生きるパッケージ

2019年1月サービス開始！

# 共に生きるコンサルタント「ともコン」が 皆さまと課題を共有し一緒に解決をサポート

こんな  
新サービス  
始めました

行内認定を取得した40名の「ともコン」  
が皆さまの経営のお手伝いを行います。

### 経営計画策定支援

経営計画の策定サポート

### 継続サポート

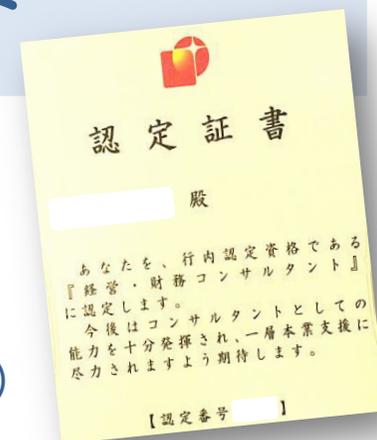
経営計画に基づく月次進捗のフォローと  
徹底した本業支援

### 研修サービス

経営者・管理者向け研修、営業担当、  
新入社員向け研修

(具体的取組み内容)

- ・財務内容の分析
- ・強み弱みの把握
- ・経営課題の共有
- ・課題解決へ向けた協議
- ・事業計画の策定
- ・売上増強策の検討
- ・経営管理強化
- ・後継者育成 など



## コンサル子会社の取組み

きらやかコンサルティング&パートナーズ(株) (略称KCP)

【2019年3月期 KCP関与案件】

項目	件数
事業承継・M&A	96件
ファイナンス	10件
事業戦略・資本政策	9件
人材育成セミナー	開催回数 23回 受講者数 1,023名
日報コンサル	57件
経営改善支援	25件
その他コンサル	20件

### ■ 事業承継

2018年度事業承継税制改正に伴い事業承継セミナーを開催し133名参加いただきました。また、53件の事業承継のご相談に取組んでおります。

### ■ 日報セミナー

7月より各地区でセミナーを開催いたします。

### ■ 経営改善支援

KCP内に、経営改善を専門としたチームを立ち上げ25件の事業計画策定と進捗管理などを実施しております。

「きらやか人材育成プログラム」 ～本業支援の一環として、お客さまの人材育成に役立つセミナーを実施～

## きらやかマネジメントスクール 第3期目突入！これまでに77名卒業・現在31名が受講中

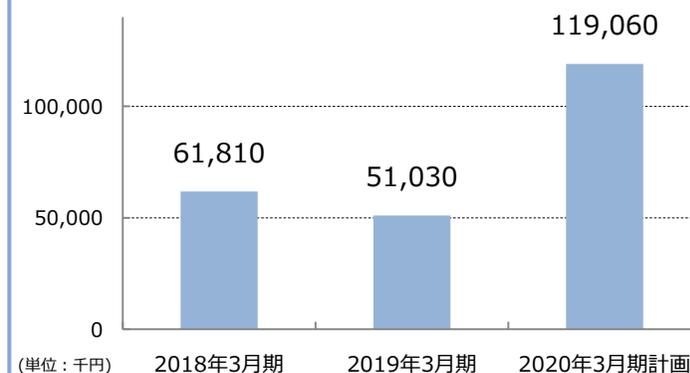
山形大学との連携授業。経営者や幹部社員、後継者を対象に1年間実施。

取引先企業さまの抱える課題について具体的な解決策を講じるための知識技術を習得。

【第3期きらやかマネジメントスクールカリキュラム】

回数	テーマ	回数	テーマ
第1回	現代経営戦略	第7回	組織マネジメント
第2回	中小企業政策と事業計画	第8回	マーケティング
第3回	経営と会計1	第9回	地域資源活用
第4回	経営と会計2	第10回	品質管理
第5回	経営と会計3	第11回	経営と法律
第6回	情報マネジメント	第12回	経営者の経済学

< KCP売上高 >



## 女性の活躍に向けた取り組み

 **皆さまのご要望にしっかりとお応えいたします！**

事例紹介



朝礼で成功事例を紹介。行員同士が切磋琢磨しております。



お客さまセミナーへ向け行内で勉強会を実施し、知識向上に努めております。

**職域担当者がお客さまのお勤め先にお伺いし、ご相談等を承ります。お気軽にお声掛けください。**

---

## 4. じもとホールディングスの取組みについて

じもとグループは「**本気の本業支援**」で**宮城と山形を強力につなぐ**ことで、他行の追随を許さない金融グループを目指します！

**宮城と山形をつなぐ！**

**本気の本業支援(本業支援の進化・発展)**

組織的な本業支援の更なる強化

県境を越えた情報の集約と提供

**東北と東京圏をつなぐ**

東京きらぼしFG(旧東京TYFG)との実績

2018年度 実績	紹介件数	成約件数
	39件	7件

**累計実績 100件超**

**グループの強み** 組織的・継続的な取組が効果を発揮！  
さらに、外部連携強化！

<商談会の開催>

「伊達な商談会(宮城県商工会議所連合会主催)」や業種別個別商談会、東京きらぼしFGなどと連携し商談会を開催し、取引先の販路拡大支援にグループ全体で取組んでいます。

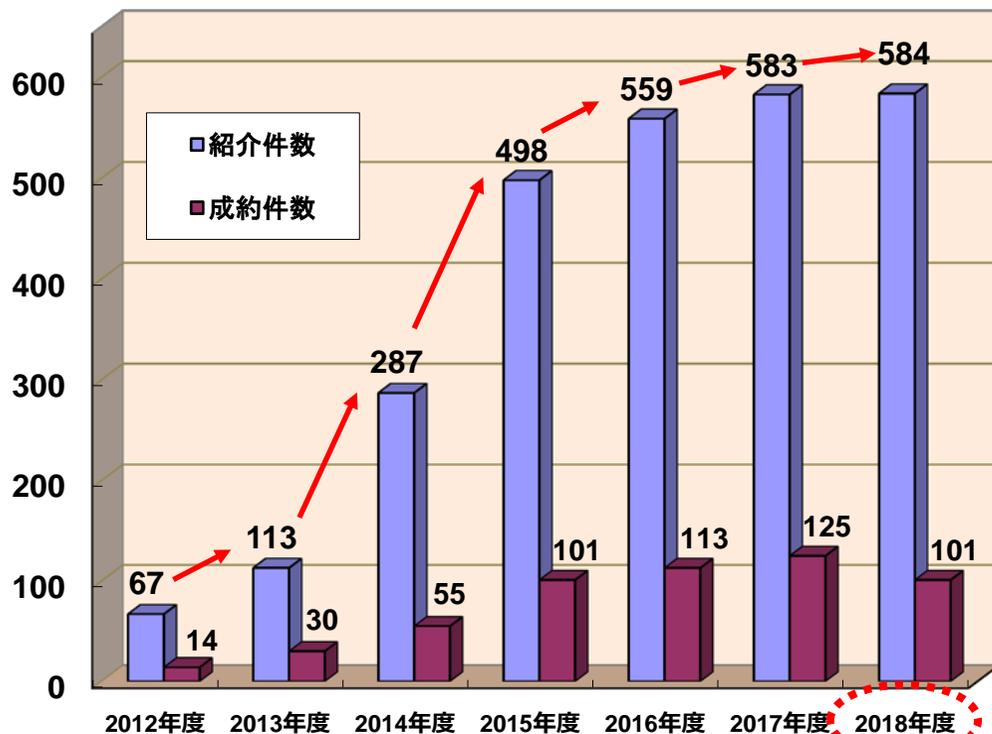
⇒2018年度実績

商談数：**373件** うち成約数：**55件**

**本業支援の進化・発展**  
**～お客さまと銀行の共存～**

累計実績 **2,500件超**

※「宮城と山形をつなぐ」⇒県境を越えたビジネスマッチング



キ-ワ-ド

顧客本位の本業支援

統合効果発揮

中期経営計画の柱

計画期間 2018年4月～2021年3月

持続可能なビジネスモデルの確立

～「本業支援」を核とする～

① 中小企業成長戦略

- 本業支援を真に必要としているお客様のもとへ足を運び、寄り添う
- お客さまの成長と喜びを通して地域経済の発展と地方創生に貢献

② 非金利収入増加戦略

- 企業の経営戦略サポート、コンサルビジネスの強化

③ 仙台地区営業戦略の強化

- じもとグループのノウハウ、情報を活かした仙台地区営業強化と顧客基盤構築

効率化・合理化

～グループ業務運営態勢再構築～

① 本部組織の抜本的見直し、店舗網見直し等

- グループ全体で組織・業務運営態勢の更なる効率化・合理化

② 事務集中業務の集約化

- 更なるシナジー効果の発揮

目指す姿

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通じて、地域経済の発展・地方創生に貢献していく
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する

我々は“なぜ”  
「本業支援」に取り組むのか？

- 必要とする支援を受けられていない  
中小企業の皆さまの力となるため
- 地元の復興ならびに地方創生に貢献するため



きらやか銀行 仙台銀行

## ① 「中小企業成長戦略」の展開

### 中期経営計画の基本骨子

- **本業支援を核とする中小企業成長戦略展開**
- 本業支援等を必要としている中小企業、復興支援先、創業企業等に対するリスクテイク
- 本業支援に基づいた付加価値の高いサービスの提供
- 顧客基盤（先数、シェアアップ）の構築

### 2018年度実施項目

- **中小企業成長戦略展開**  
『ターゲット戦略』の強化（きらやか）  
『コア戦略』の開始（仙台）
- **本業支援に基づく新サービス展開、ニーズ把握**  
**【きらやか】**  
「ふっくりパッケージ」（福利厚生）  
「共に生きるパッケージ」（経営管理）  
「リース業務の展開」  
**【仙台】**  
「コア取引先の定義と抽出」  
「コア取引先の本業支援ニーズ把握」

### 2019年度施策

- **本業支援を核とする中小企業成長戦略展開**
- **きらやか：ターゲット戦略**
  - ・新規先ターゲットの強化
  - ・ターゲット先へ「財務」と「成長」の本業支援
  - ・**コンサル業務の充実、福利厚生サービスの拡充**
- **仙台：コア戦略**
  - ・コア取引先の「財務の改善支援」「設備推進」ニーズへ取組み
  - ・**コア取引先全先に、個別ヒアリングに基づく本業支援を検討、実施**

## ② 仙台地区営業戦略

### 中期経営計画の基本骨子

- **仙台地区営業戦略の強化**
- 「仙台地区エリア戦略会議」による営業店連携強化
- 本業支援を柱にじもとグループの顧客基盤の確立
- 本部新規開拓部門の連携強化

### 2018年度実施項目

- 「**仙台地区エリア戦略会議**」の開催  
⇒計4回（6月、8月、11月、3月）
- **新たな仙台地区戦略の検討**  
HDの共通行動指針  
仙台地区HD目標新設  
共通表彰基準  
**きらやか審査役の仙台融資部配置**  
仙台地区エリア会議の見直し

### 2019年度施策

- **HDの共通行動方針**
  - ・グループ全体のシェアアップにつながるよう、両行で協議のうえ対応。
- **きらやか仙台地区審査役2名（HD兼務体制）、仙台融資部に配置（2019年4月より）**  
<ねらい>  
仙台市場の情報を早期共有（信用リスク）  
両行審査ノウハウ、実務を共有  
審査対応のスピードアップ  
<手法>  
融資案件の事前審査へ同席  
融資管理委員会等へ出席 等
- **仙台地区エリア戦略会議の見直し**  
仙台地区HD目標の達成への進捗管理、検討

## ①グループ組織、業務運営態勢の見直し

### 中期経営計画の基本骨子

- 効率化・合理化に資する本部組織の抜本的見直し
- R P A 導入による業務効率化
- 両行本部間の組織統一や人事交流による業務効率の向上
- 店舗網見直し、適正人員配置による経営資源の最適化

### 2018年度実施項目

- バックオフィス統一の検討
  - ・市場金融部証券管理課の統一
- 本部間の両行ノウハウ共有に向けた人事交流の実施（延べ人数25名）
- サブシステム統一による情報共有・効率化
  - ・不動産担保評価システム、グループウェア統一化の実施
- 定例作業を対象としたR P A化業務の選定及び決定
  - ・23業務を検討、うち1業務（事務センター内業務）についてR P A運用開始

### 2019年度施策

- 業務効率化に向けたバックオフィス統一の実施
  - ・市場部門を2019年度下期に統一予定
- 窓口業務の本部集中統一や本部業務統一による効率化
  - ・窓口業務の本部集中化による事務効率化
    - ※相続事務（仙台）、諸手続事務（両行）
  - ・本部業務の両行統一による事務効率化
    - ※財務諸表入力事務、担保実地調査業務など
- R P A導入による業務効率化の継続検討
  - ・事務集中業務、ローン業務を中心とした22業務について引き続きR P A化を検討（年間約5,500時間削減）
- 店舗網見直しによる、収益部門に対する人員の再配置検討

## ②グループ内コスト削減

### 中期経営計画の基本骨子

- 両行事務集中業務の集約化
- H Dによる子銀行コスト削減管理
- 新事務センターの活用による事務集中業務の集約化
- 両行コスト削減管理をH Dで一元管理

### 2018年度実施項目

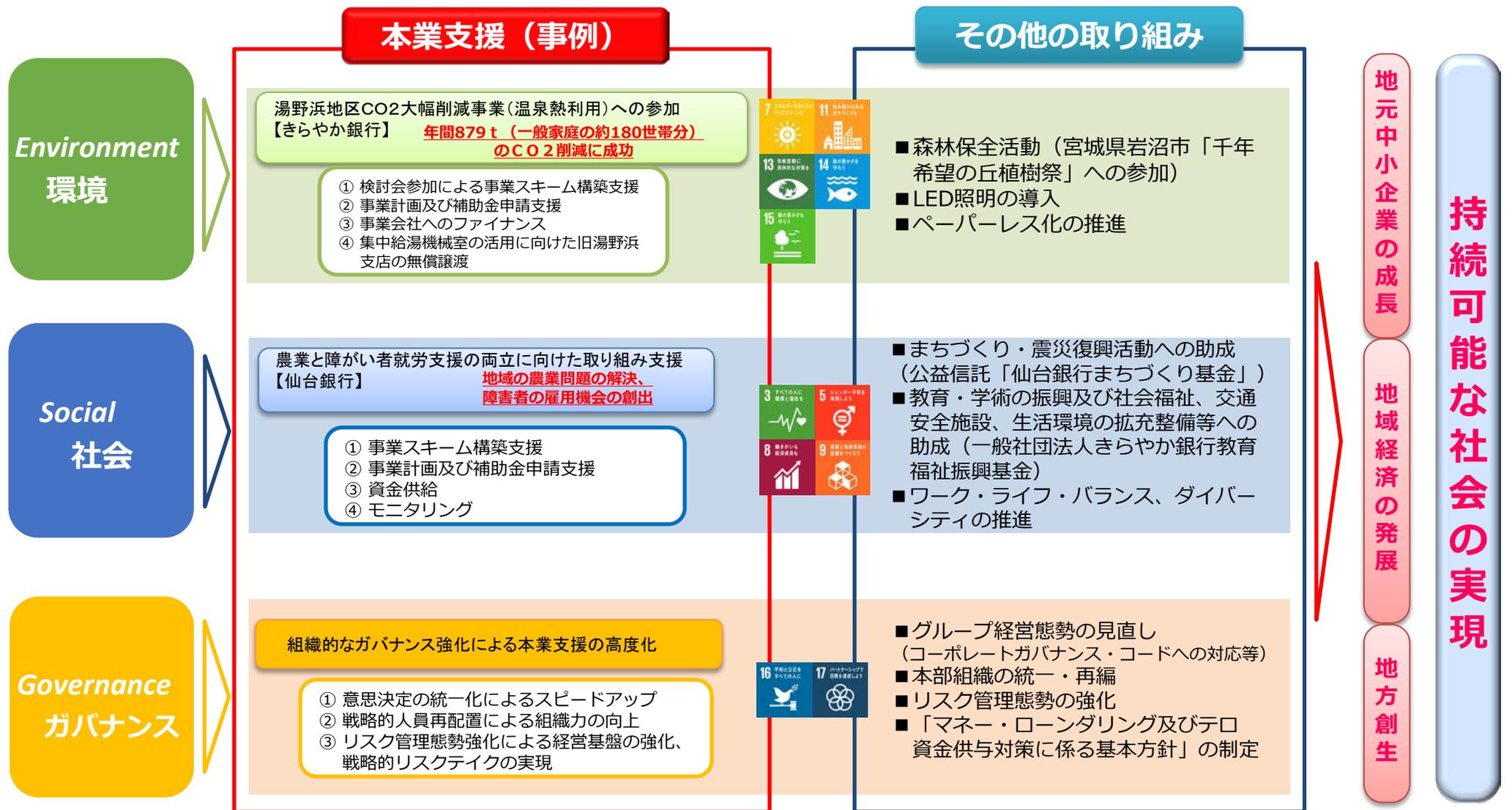
- 両行共同化による更なるコスト削減交渉を実施
- 両行共同購入による消耗品等の購入単価削減を実施
- 両行の事務集中業務（8業務）をきらやかBK事務センターに集約
- H D業績進捗会議にて、両行のコスト削減状況を同一目線での進捗管理

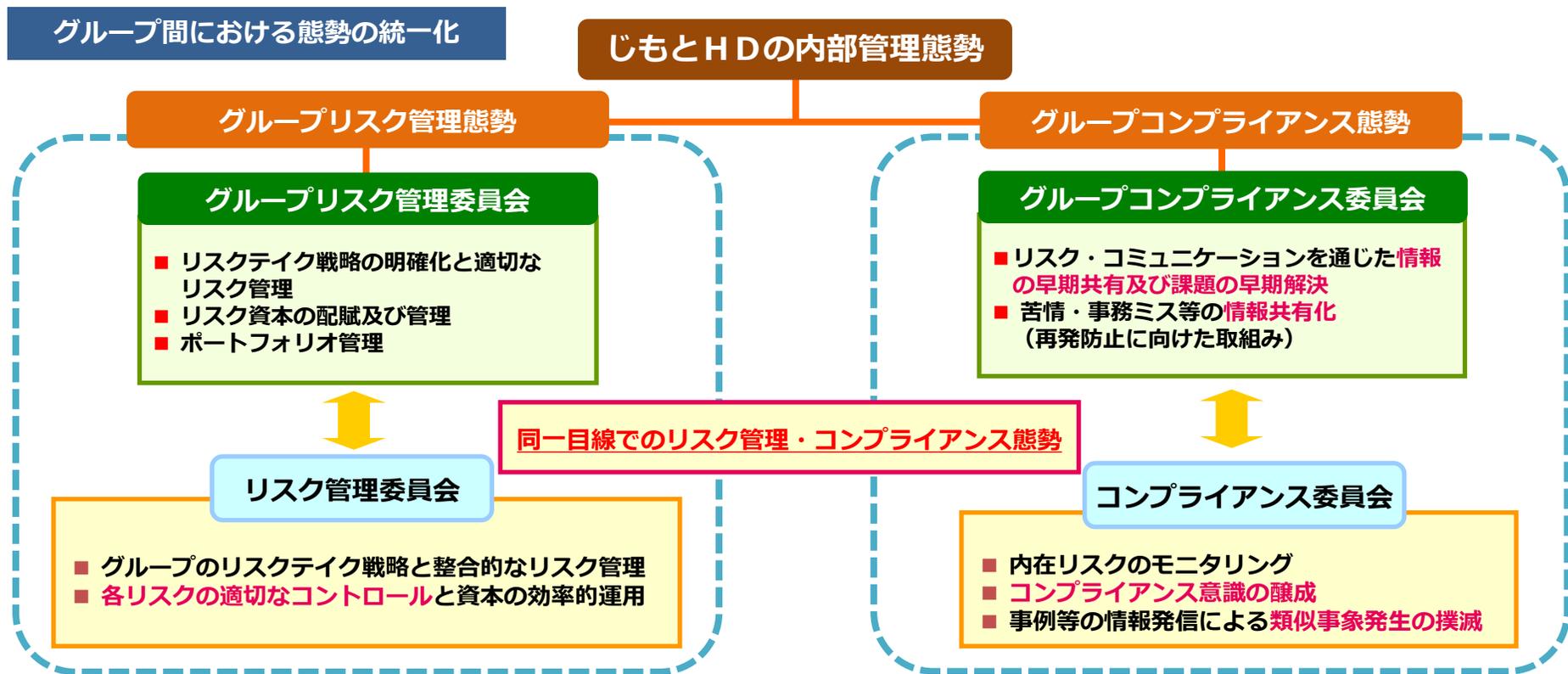
### 2019年度施策

- 両行共同化による更なるコスト削減交渉の継続
  - ・外部コンサルと提携し、新たな視点でコスト削減策を検討（2019年4月より開始）
- システム、帳票、備品等の統一によるコスト削減（固定資産管理システム、備品の共同購入等）
- 両行コスト削減に係るH D進捗管理を継続



じもとグループは、組織的・継続的な「本業支援」を通じて、地元中小企業の成長を支援し、地元経済の発展、地方創生に貢献することを目指しています。その「本業支援」そのものがESG・SDGsの理念に合致するものと考え、これからもグループ一丸となり取り組んでまいります。





リスクアセスメント態勢の構築と機動的な対応

1. リスクアセスメント態勢の構築

- ◆ リスクアセスメント態勢の構築により、グループ態勢上の弱点、問題点等の把握・改善を通じ、業務運営態勢の健全性・適切性を確保する。

2. リスク管理態勢の強化

- ◆ 積極的にリスクテイクを進めている分野におけるリスク対応力の強化
- ◆ トップリスクの明確化とモニタリングの強化
- ◆ リスク顕在化事象の早期把握と早期のアラーム発信
- ◆ リスク・プロファイル分析およびリスク・リターン分析の強化

「リスクテイクの多様化に対応」するとともに、「リスクテイクへの戦略的活用」が可能となる態勢整備を図る

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス  
総 合 企 画 部

TEL : 022-722-0011 (代表)

<https://www.jimoto-hd.co.jp>